

アフリカ豚熱の感染拡大状況（2007年以降）

アフリカ豚熱の発生拡大状況（2007年～）



韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況

韓国で北部から南部へと徐々に発生が拡大していた中で、**昨年12月に釜山広域市で急に野生イノシシでの感染が確認**され、1月には、**日本に向かうフェリーターミナルに近い場所でも野生イノシシでの感染が確認**。

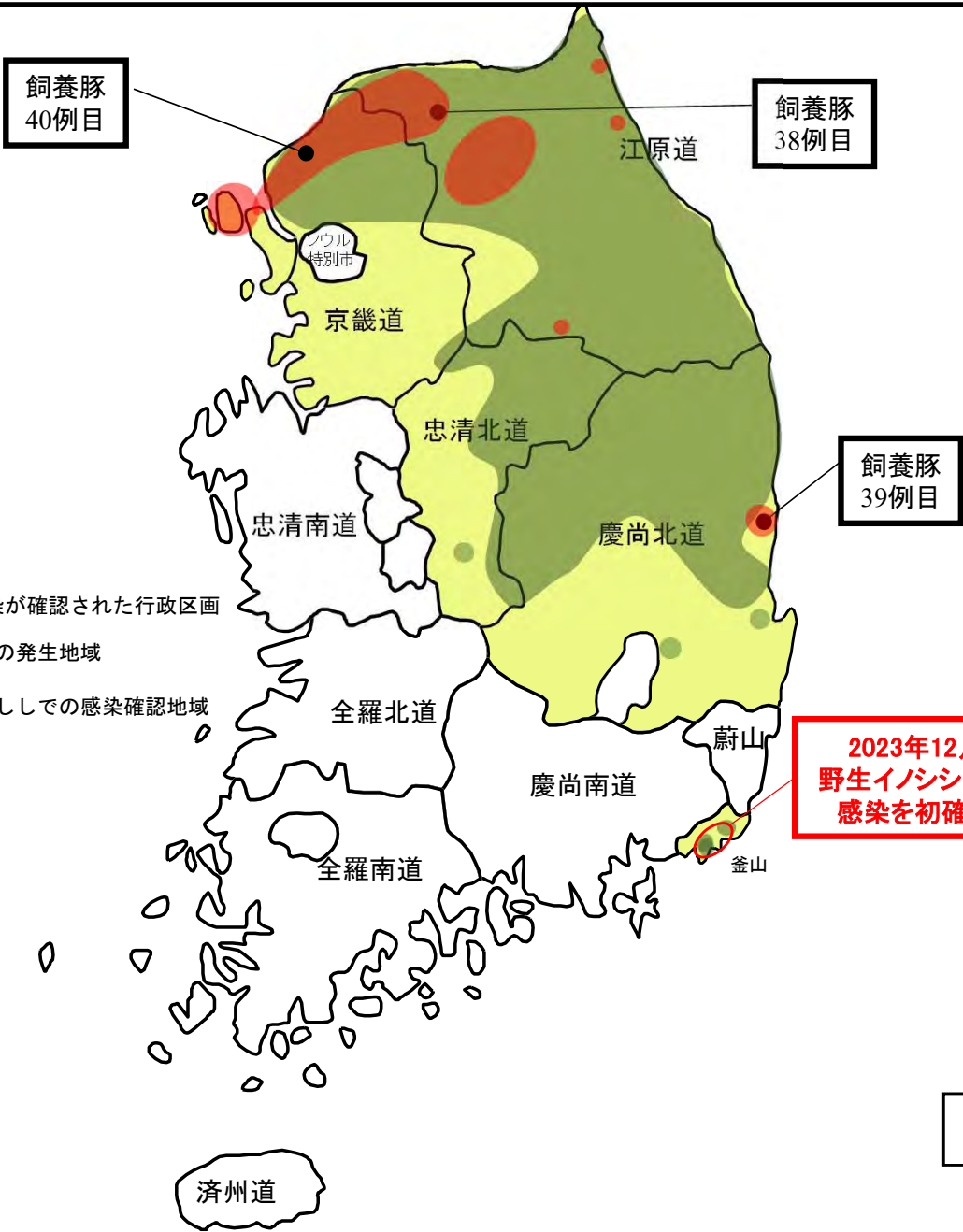
【飼養豚での事例】

事例	発生日	発生地域
1	2019/9/16	京畿道坡州市
2	2019/9/17	京畿道漣川郡
3	2019/9/23	京畿道金浦市
4	2019/9/23	京畿道坡州市
5	2019/9/24	仁川広域市江華郡
6	2019/9/25	仁川広域市江華郡
7	2019/9/25	仁川広域市江華郡
8	2019/9/26	仁川広域市江華郡
9	2019/9/26	仁川広域市江華郡
10	2019/10/1	京畿道坡州市
11	2019/10/1	京畿道坡州市
12	2019/10/2	京畿道坡州市
13	2019/10/2	京畿道金浦市
14	2019/10/9	京畿道漣川郡
15	2020/10/8	江原道華川郡
16	2020/10/9	江原道華川郡
17	2021/5/4	江原道寧越郡
18	2021/8/7	江原道高城郡
19	2021/8/15	江原道麟蹄郡
20	2021/8/25	江原道洪川郡
21	2021/10/5	江原道麟蹄郡
22	2022/5/26	江原道洪川郡
23	2022/8/18	江原道楊口郡
24	2022/9/18	江原道春川市
25	2022/9/19	江原道春川市
26	2022/9/28	京畿道金浦市
27	2022/9/28	京畿道坡州市
28	2022/11/9	江原道鉄原郡
29	2023/1/5	京畿道抱川市
30	2023/1/11	江原道鉄原郡
31	2023/1/22	京畿道金浦市
32	2023/2/11	江原道襄陽郡
33	2023/3/19	京畿道抱川市
34	2023/3/29	京畿道抱川市
35	2023/3/31	京畿道抱川市
36	2023/4/13	京畿道抱川市
37	2023/7/18	江原道鉄原郡
38	2023/9/25	江原道華川郡
39	2024/1/15	慶尚北道盈徳郡
40	2024/1/18	京畿道坡州市

初発生日：2019年9月16日

発生数（豚）：**40件**
感染数（野生いのしし）：**3,731件**

豚、いのしし飼養頭数：約 1,122万頭



【野生イノシシでの事例】

(単位：件)

京畿道	坡州市	100
	漣川郡	418
	抱川市	94
	加平郡	62
江原道	鉄原郡	37
	華川郡	426
	春川市	222
	楊口郡	81
	麟蹄郡	158
	高城郡	12
	寧越郡	248
	襄陽郡	36
	江陵市	110
	洪川郡	63
	平昌郡	46
	東草市	1
忠清北道	旌善郡	179
	横城郡	63
	三陟市	99
	原州市	83
	太白市	19
	東海市	8
	丹陽郡	176
慶尚北道	堤川市	91
	報恩郡	73
	槐山郡	12
	陰城郡	1
	忠州市	105
慶尚南道	尚州市	110
	蔚珍郡	64
	聞慶市	64
	榮州市	13
	醴泉郡	12
	奉化郡	78
	盈徳郡	104
	安東郡	33
	英陽郡	82
	青松郡	75
釜山広域市	浦項市	33
	永川市	21
	義城郡	3
	釜山広域市	16
合計		3,731

※ 韓国当局公表資料等の情報を元に作成
飼養頭数：FAO統計(2021)による

2024年3月4日時点

韓国・釜山広域市での野生いのししASF感染確認状況



アフリカ豚熱対策の更なる強化①（水際対策の徹底）

出国前から日本に持ち込ませない

- 釜山から日本に直行する全てのフェリー等（５社）における、船内アナウンスによる畜産物持ち込み禁止・罰則に関する注意喚起や注意すべき取組を示したポスターの船内掲示等の実施。また、韓国から日本への直行便のある航空会社についても、14社全てが機内アナウンスによる注意喚起等を実施。
- 在外公館による韓国出国前の旅行者に対するSNSを利用した情報発信・旅券発券時のリーフレット配布等を継続的に実施。関係団体を通じ、旅行代理店、技能実習生等への注意喚起と情報発信。
- 訪日韓国人旅行者に影響力を持つ人気韓国人ブLOGGERから、畜産物持ち込み禁止及び靴や自転車の泥を落とすこと等についての情報発信。

＜大臣による注意喚起＞



＜空港等での注意喚起＞



空海港における対策

- 韓国からの全ての船舶及び航空便に対して、家畜防疫官による検査を実施中。釜山からの船舶に対しては全ての旅客に口頭質問を実施し、トレッキングシューズ、ゴルフシューズ等の要消毒物品に対して対応を確実に実施し、検疫探知犬についても可能な限り活動回数を増加。航空便に対してはさらに検疫探知犬の活動回数を増加。
- 従来から国際線が就航する全ての空海港に靴底消毒マットを設置。旅客の靴底や自転車等に対して十分な効果がある消毒を実施できるよう、適切な濃度の消毒液の活用や消毒マットの効果的な配置。
- 関係機関、航空関係者、港湾関係者と連携し、釜山定期旅客船の就航する４港（下関港、博多港、比田勝港、大阪港）においては、車両、自転車等の消毒を実施。フェリーに搭載される車両について、乗船前の消毒を実施するよう船舶会社に依頼。畜産関係車両については入国時にも車両消毒を実施。
- 国内線における靴底消毒マットの設置について、都道府県に改めて実施依頼。

野生イノシシ等への感染防止対策

- 釜山広域市と主要な定期フェリー航路を有している県を中心に、韓国人旅行者の立ち寄り場所などリスクの高い場所を特定して、効果的に野生イノシシ等への侵入防止対策を新たに実施。
- １月に全国の担当者を対象として会議を開催し、観光地やレクリエーションなどの訪日旅行者の立ち寄り場所について分析中。空海港や農場周辺のみならず、バスやレンタカー等、都市部や河川敷などにおける、ポスター掲示等による注意喚起やゴミ箱の設置や管理の徹底、消毒の実施など必要な対策を各都道府県で実施。

アフリカ豚熱対策の更なる強化②（野生イノシシ対策、飼養衛生管理）

野生イノシシ対策 （国内で広げない）

- ・ 死体を衛生的に処理する必要がある、万が一の侵入時に備えた**野生イノシシにおける死体処理等の初動対応について、基本方針案を公表**。
- ・ 早期に発見できるよう、**サーベイランス**による野生イノシシにおける浸潤状況を引き続き把握。
- ・ 実際の感染を確認した場合を想定し、**農研機構、県などの関係者の協力を得ながら死体処理や運搬方法等を検証するための防疫演習**を農林水産省において実施。
- ・ **万が一野生イノシシへ侵入した際に必要となる特殊な防疫資材（簡易電気柵、納体袋）等を備蓄**。また、各都道府県においても**アフリカ豚熱に関する防疫演習が実施できるよう支援**。
- ・ 一般登山者向けの動画を通じ、**登山等による感染拡大防止対策として、畜産物を含む廃棄物の適切な処理や、登山靴の洗浄消毒等について周知**。

<侵入時に備えた防疫演習>



<一般向け動画の公表>



↑動画はこちら
@maffchannel

飼養衛生管理 （農場に入れない）

- ・ 豚熱と異なり実用性が確認された**ワクチン**は無いため、**飼養豚への感染予防対策は飼養衛生管理の徹底**が何よりも重要。
- ・ 生産者をはじめとする関係者に対して**侵入リスクが高まっている危機感を共有し、農場における飼養衛生管理の徹底等**について改めて指導。
- ・ 万が一の侵入時に的確な初動対応ができるよう、**都道府県における防疫体制を関係部局と連携し構築**するなどの万が一に備えた準備をすすめるよう改めて通知。

<生産者向けの注意喚起資料>

